

中長期展望(2060年を視野)

人口減少問題の克服
◎2040年に14,000人
2060年に12,000人
を維持

- ◆社会動態の基調維持
- ◆女性の転出抑制・転入促進
- ◆出生率の向上

若者が暮らしたいまちを創る

- ◆シビックプライドを育み、地元で働きたいと思える環境を創る
・直近3カ年平均の社会動態
(転入-転出)⇒△33.7人(△48.7人)
- ◆若者の姿が見え、にぎわいや活力を感じることができる環境を創る
・住みよい町と思う人の割合⇒70.0%(63.3%)

①安定した雇用の維持と、多様な働く場の創出

②若者同士や世代間で交流できる場の整備、支援

③出会いから結婚、子育てまでを応援する環境の整備

④地域への誇りや愛着心が育まれる環境の整備

女性にとって魅力的なまちを創る

- ◆女性が働きたい、住みたいと思える魅力的なまちを創る
・人口性比(20歳~39歳)⇒80.0%(78.8%)
(※男性の数を100とした時の女性の数の比率)
- ◆安心して出産、子育てできると思える魅力的なまちを創る
・直近3年間平均の出生数⇒120人(120人)

①女性にとって魅力的な働く場の創出

②都会にはない地方の魅力を発信する機会の創出

③結婚・出産・子育てまで、切れ目のない安心できる環境の整備

④ワークライフバランスが実現できる環境の整備

活力と特色のある地域を創る

- ◆子どもから高齢者まで、健康で活躍できる環境を創る
・就業または何らかの地域活動をしている60歳以上の割合⇒85.0%(82.7%)
- ◆移住、交流人口が盛んなまちを創る
・空き家バンクを通じた空き家活用件数⇒10件(1件)

①誇りの持てる地域産業の育成

②地域内、地域外との交流の場の整備

③多様な価値観を認め合い、子育てしやすい環境の整備

④地域づくりの支援と、高齢者が活躍できる場の創出

国の基本目標

雇用の創出

人の流れ

結婚・出産・子育ての希望

時代に合った地域をつくり、地域と地域の連携